

海部医療圏保健医療計画に対して意見等

	機関名	該当部分	ページ	意見等の内容	対応
1	津島市歯科医師会	第2章 第1節 【現状と課題】現状	7	歯科においては、手術後の歯周病の重症化や誤嚥性肺炎の併発を予防するために、病診連携して周術期口腔ケアを行っていることを追加。また、手術前と退院直後に周術期口腔ケアを追加。	周術期の口腔ケアについては、第2章 第6節 歯科保健医療対策 4 病診連携、診診連携の推進 (P. 39) の課題の1番目の○に「また、周術期の口腔管理にあたり、病院と歯科診療所の連携推進を図る必要があります。」と追加。
2	愛西市	第2章 第1節 図2-1-1	9	数値のない部分については、「-」を記載。	記載
3	蟹江町	第2章 第1節 図2-1-1 表2-1-1	9	標準化死亡比 (SMR) をEBSMR (empirical bayes SMR経験的ベイズ推定値)に変更。	EBSNRは、小地域間の比較や経年的な動向をSMRに比べ、偶然変動の影響を受けないようにするために活用するものである。医療計画では、医療圏単位であり、SMRでの評価で可能と判断するため、修正しない。
4	蟹江町	第2章 第2節【現状と課題】現状 2 第3節【現状と課題】現状 2	15 19	2番目の○の特定健康診査・保健指導の実施率及び終了率は、KDB (国保データベース) システムで平成27年度分が出ているはずなので、最新の資料で記入。	健康対策課から医療圏毎の「特定健診・特定保健指導データを活用した分析評価」が送付されたため、送付されたデータで修正。
5	津島市民病院	第2章 第5節 【現状と課題】現状 2 (3)	30	「津島市民病院、海南病院、あま市民病院が、「病院の認知症対応力向上事業実施病院」として、医療従事者の認知症への理解、認知症医療の向上に努めています。」を追加。	3番目の○として追加。

	機関名	該当部分	ページ	意見等の内容	対応
6	七宝病院	第2章 第5節	36	表の中、後方支援基幹病院の下に地域名が記載されているが、後方支援基幹病院の施設名を記載した方が内容に合うのではないか？	表は、「精神科救急輪番制当番病院」であるため、輪番制当番病院についての記載に修正。
7	海部歯科医師会	第2章 第6節 【現状と課題】 現状 1	37	「<0歳期>ヒトの発育成長が身体系はもとより、内分泌系、神経系、更に口腔粘膜・顎頭蓋の発達成長が、機能としての歯と口腔の環境を内科医師の健診のみならず、歯科医師の立場からしっかりと観察し、健診を実施し、その上で相談、教育し、対応されるべき取り組みが必要です。」を追加。	県素案と記載をそろえたため、2番目の○として、「乳幼児期は食べること（摂食）や話すこと（会話）など口腔機能が形成発達する重要な時期であることから、全市町村で健康教育、保健指導が実施されています。」と追加。
8	海部歯科医師会	第2章 第6節 【現状と課題】 現状 1	37	5番目の○の次に「6市町村では第一大臼歯保護育成のための予防シーラント処置を実施しています。」を復活。	復活
9	海部歯科医師会	第2章 第6節 【現状と課題】 課題 1	37	5番目の○「（略）40歳未満の若い世代」の後に「及び後期高齢者の歯周病」を追加。	課題（P. 37）の6番目の○として追加。
10	津島市歯科医師会	第2章 第6節 【現状と課題】 現状 課題 1	37	現状 8番目の○、課題 4番目の○で“健康診査”と”健診”と違うので、表現をそろえ、課題 5番目と6番目の○の”歯周病健診”を”歯周病検診”に修正。	修正
11	海部歯科医師会	第2章 第6節 【現状と課題】 現状 3 (1)	38	2番目の○として「在宅療養患者の口腔ケアサービスの供給体制が確立されていない状況にあります。」を復活。	復活
12	海部歯科医師会	第2章 第6節 【現状と課題】 課題 4	39	1番目の○「（略）糖尿病をはじめ、」の後に「脳梗塞、心臓病、アルツハイマー型認知症、骨粗しょう症等」を追加。	追加

	機関名	該当部分	ページ	意見等の内容	対応
13	海部歯科医師会	第2章 第6節【現状と課題】現状4	39	3番目の○として「糖尿病教育入院や糖尿病教室を実施している病院のうち、教育プログラムの中に「歯・歯周病」に関する内容を入れている病院は津島市民病院、厚生連海南病院の2か所です。」を復活。	復活
14	海部歯科医師会	第2章 第6節【現状と課題】課題4	39	3番目の○として「糖尿病と歯周病の関係を踏まえ、糖尿病患者のみならず糖尿病予備群に対しても歯に関する情報提供の機会を増やす必要があります。」を復活。	復活
15	大治町	第2章 第6節今後の方策	39	2番目の○の「環境整備」のとらえ方がはっきりしないので、具体例を記載（1～2例）して、環境整備につながると良いと思う。	環境整備の具体的内容については、【現状と課題】の課題に記載あり。
16	津島市	第3章 1【現状と課題】現状	42	5番目の○の「さらに、平成21年4月末からは、」以下は、救急搬送の内容であるため、「2 第2次救急医療体制」に記載を変更。	県救急医療情報システムに関する記述であることから、修正しない。
17	津島市歯科医師会	第4章【現状と課題】課題1	48	救援物資が、被災者に確実に届くよう、受援体制の対策について追加。	1 平常時における対策の課題1番目の○に「また、大規模災害時に外部から応援を受けることを前提とした受援体制の整備に向けた検討が望まれます。」と追加。
18	津島市	第4章【現状と課題】現状1	49	当該ページ4番目の○「保健所及び市町村では、～（略）～」の続きに、「災害時における要援護者支援に必要な地域医療ネットワーク基盤の整備が不十分です。」を記載。	記載しない。

	機関名	該当部分	ページ	意見等の内容	対応
19	津島市	第4章【現状と課題】課題1	49	「○ 災害時における要援護者支援のツールとして、ICT（情報通信技術）を活用した地域医療ネットワーク基盤の整備が求められています。」を記載。	記載しない。
20	津島市	第4章 今後の方策	50	「災害時における要援護者支援のツールとして、ICT（情報通信技術）を活用し、地域医療ネットワーク基盤の整備を推進します。」を記載。	記載しない。
21	津島市	第4章 用語の解説	51	「○ 航空搬送拠点臨時医療施設（SCU本部：Staging Care Unit）被災地内の被災患者を被災地外へ航空機搬送するうえでの臨時医療施設です。」を記載。	体系図の説明（P.53）2番目の○に記載。
22	愛西市	第5章 第1節 第6章 第2節 用語の解説	55 63	文字に枠線がかかっている。	修正
23	津島市	第5章 第2節【現状と課題】課題3	57	1番目の○「全市町村にセンターが設置されるよう「子育て世代包括支援センター」の取組を広げていく必要があります。」を「全市町村が「子育て世代包括支援センター」を拠点とした妊娠・出産・子育てに関する包括的な支援体制の構築を図り、具体的な母子保健施策を展開していく必要があります。」に修正。	「全市町村が「子育て世代包括支援センター」を拠点として妊娠期から子育て期にわたるまでの切れ目のない支援を提供する体制を構築していく必要があります。」に変更。
24	海部歯科医師会	第5章 第2節 今後の方策	58	1番目の○の「低体重児の出生割合の減少に向け」の次に「周産期対策を基本とするも歯周病疾患とのかかわりからも」を追加。	第2章 第6節【現状と課題】現状 1（P.37）8番目の○として、課題 1の5番目の○として、妊産婦への歯科保健対策について追加。

	機関名	該当部分	ページ	意見等の内容	対応
25	津島市歯科医師会	第5章 第2節 今後の方策	58	1番目の○ 低出生体重児の出生割合に妊婦の歯周病が大きく関連するエビデンスはある。2番目の○の”妊婦健康診査”の後に”妊婦歯科健康診査”も追加。	妊婦への歯科保健対策については、第2章第6節 歯科保健医療対策 1 ライフステージに応じた歯科口腔保健対策 (P. 37) の現状の8番目の○及び課題の4番目の○に記載。”妊婦歯科健康診査”を追加。
26	津島市	第6章 第1節 【現状と課題】現状 4	60	1番目の○の「虐待を受けている子どもが～(略)～行っています」は、第5章 第2節 5 (P. 58) 1番目の○「子どもの虐待の早期発見と～(略)～図っています。」と重複しているので、削除。	各章のそれぞれに目的が違うため、変更しない。
27	津島市	第6章 第2節 今後の方策	62	「2 小児の救急医療体制」の課題 「小児救急患者は、成人に比べ症状把握が困難なため、医師会及び公的2病院等と連携し、小児専門医による小児救急体制の整備を推進する必要があります。」に対する方策がない。「小児専門医による小児救急体制の整備を推進します。」とする。	2番目の○として、「小児重症患者への対応については、小児救急救命センターである県あいち小児保健医療総合センターを中心に、PICUを有する医療機関との連携体制の充実・強化を図っていきます。」と追加。
28	津島市医師会	第7章 2【現状と課題】現状	66	前ページからの続き”平成30年度以降は、市町村が実施主体”という表現だと、別々のような印象を受けるので、”海部津島医療圏全体として、連携協力”といったことを入れる。	現在、市町村において検討中。
29	津島市民病院	第7章 2【現状と課題】現状	66	当該ページの4番目の○削除部分「津島市民病院に「在宅医療支援病床」を5床確保し、平成25年7月から在宅療養者の病状急変時に対応しています。」に代えて、「津島市民病院では、平成29年4月1日から「在宅療養後方支援病院」として、在宅療養患者や家族が安心して自宅で過ごせるように、在宅医療担当医と連携して入院受け入れを行っています。」と記載。	記載

	機関名	該当部分	ページ	意見等の内容	対応
30	津島市	第7章 2【現状と課題】現状	66	当該ページの4番目の○「津島市民病院に「在宅医療支援病床」を～」を削除している。これに代わり、「○ 「在宅医療支援病床」廃止に伴い、津島市民病院に「在宅療養後方支援病院」の施設基準を取得し、平成29年4月から、地域の在宅医療を支えることを目的として運用を開始しています。患者さんを事前に登録してもらうことにより、よりスムーズに事前に希望した病院への入院を可能とする、かかりつけ医の先生方の在宅医療を制度的にバックアップできるシステムです。」と修正。	津島市民病院からの意見とおりに修正。
31	津島市	第7章 2【現状と課題】現状	66	当該ページに「○ 津島市民病院では、平成28年3月から「地域包括ケア病床」を運用し、在宅復帰を目的とした支援を行っています。」を記載。	当該ページ (P.66) 5番目の○として、あま市民病院及び尾張温泉かにえ病院も含めて記載。
32	津島市	第7章 用語の解説	67	「○ 在宅療養後方支援病院 平成26年度の診療報酬改定で、新しく制度化されたもので、在宅医療を提供する医療機関と連携し、当該病院において24時間受け入れ可能な体制を確保し、必要に応じて入院の受け入れをしている病院のことで。」を追加。	4番目の○として、追加。
33	津島市	第7章 用語の解説	67	「○ 地域包括ケア病床 平成26年度の診療報酬改定で、新しく制度化されたもので、急性期後の在宅復帰を目的とした支援のための病床のことで。」を追加。	5番目の○として、追加。

	機関名	該当部分	ページ	意見等の内容	対応
34	あま市	第9章【現状と課題】現状1 表9-1	72 75	2番目の○の当医療圏の平均寿命と、表9-1の数値が一致していない。	修正
35	蟹江町	第9章【現状と課題】現状2	72	2番目の○ 基本チェックリストを実施していないため、「基本チェックリストを実施」を削除し、「総合事業として推進」に変更。	基本チェックリストを活用している市町村があるため、「実施しています」を「活用しています」に修正。
36	七宝病院	第9章【現状と課題】現状4	73	認知症対策に“認知症サポート医”の記載がないので、今後役割が重くなってくることが予想されるので、追加。	P.74 4番目の○に「県は、認知症高齢者とその家族を支える地域づくりを進めるため、かかりつけ医の認知症対応力向上研修や、関係機関の連携を推進する認知症サポート医の養成研修を開催しています。」を追加。
37	津島市医師会	第9章【現状と課題】現状4	73	認知症については、かかりつけ医も研修等積んでいるので、認知症サポート医に加え、かかりつけ医も追加。	同上
38	津島市民病院	第9章【現状と課題】現状4	74	当該ページ4番目の○の終わりに、「また、津島市民病院、海南病院、あま市民病院が、「病院の認知症対応力向上事業実施病院」として、医療従事者の認知症への理解、認知症医療の向上に努めています。」を追加。	追加
39	津島市医師会	第9章【現状と課題】現状4	74	当該ページ4番目の○”認知症対応向上事業”は”対応力”であり、”力”を追加。	追加
40	愛西市	第9章 表9-4	76	表9-42の見え消し部分が残っている。	見え消し部分を削除。

	機関名	該当部分	ページ	意見等の内容	対応
41	津島海部薬剤師会	第10章 第1節 今後の方策	81	1番目の○の文頭に、「『患者のための薬局ビジョン』に記載されています」を追加。	P. 81 【現状と課題】の現状の1番目の○として、「国は、平成27年10月に『患者のための薬局ビジョン』を策定し、かかりつけ薬剤師・薬局の推進を図っています。」、 P. 82 用語の解説の1番目の○として、「患者のための薬局ビジョン」を追加し、同章第2節 (P. 83) 【現状と課題】の現状の4番目の○の文頭を「国が作成した」に修正。